

# 作物名 **はくさい** (アブラナ科)

J A 2022 版

標準作型 ○印・播種(種まき) △印・定植 ◡印・トンネル □印・収穫

作 型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
秋まき								○○	△	□		
冬まき	○	○	○		□							

## 栽培のポイント

根こぶ病多発圃場では、ダイコンを除くアブラナ科野菜を作付けしないこと。  
秋の雨が多い時は、軟腐病の防除に気をつけ、必ず数回予防的に防除する。  
秋まきは、播種を遅くしすぎると、結球しないので、適期に播種すること。

品 種  
わわ菜 (トキタ) : ミニハクサイの品種で、生育日数 60 日。0.5~1kg。  
極意 (カネコ) : 早生性で軟腐病に強い。生育日数 50~55 日。1~1.2kg。  
黄ごころ 65 (タキイ) : 黄心系品種で生育日数 65 日。2.5~3kg。  
金将二号 (タキイ) : 白芯系品種で生育日数 85 日。3.5kg。  
黄ごころ 80 (タキイ) : 黄心系のハクサイで生育日数 80~90 日。3~4kg。

畑の準備  
元 肥  
苦土石灰 (10kg/a)・堆肥 (100kg/a) を 1ヶ月前に施しておく。  
ハクサイは初期の生育を旺盛にしたほうが大きなものになるので、元肥は他の作物よりやや多目に施す。

(1 a 当たり使用量)

ジシアン有機化成 S806 号	18 kg	播種もしくは定植前
-----------------	-------	-----------

播 種  
(種まき)  
育 苗  
うね幅は 60 ㎝ 株間 45 ㎝ に種子をまき軽く土をよせる。  
播種量の目安 : 3~4ml / a  
セルトレイに 2 粒ずつまき、育苗は寒冷紗などで遮光し、ブロックなどで地面から離して育苗する。  
※ 移植に弱いので苗が老化しないうちに植える。

間引き  
本葉 4~5 枚の頃に 1 本立ちに間引きをしておく。

追肥・土寄せ  
株元に追肥をした後や間引きの後に、ぐらつかないように土寄せをする。

(1 a 当たり使用量)

NK化成 2 号	5 kg	定植 15~20 日後
----------	------	-------------

頂部の結束  
霜が降りるようになったら内部 (芯) の防寒のために、広がっている外葉をまとめて結球部の上部を縛っておく。霜よけにベタガケ資材をうき掛け (ハクサイに触れないように上部に資材を張る) を 11 月中旬以降に行ってもよい。

病虫害防除  
ガの幼虫 (オオタバコガ、ハスモンヨトウなど) の防除と軟腐病の防除は必ず行う。特に生育初期は害虫の密度が高いので、育苗床を 0.8 ㎡ の目合いの防虫ネットで被覆すると良い。軟腐病は秋の風雨を伴った雨があるときは、必ず降雨前後に予防的に銅剤などの散布を行う。

収 穫  
手で株の頭を押さえてみて、かたく結球していれば収穫ができる。